

品名

ガスハンター® AG52

型式名

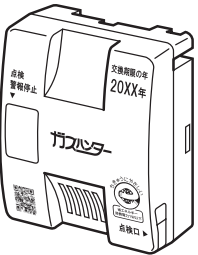
CF-621

取扱説明書

【保証書付】

このたびは、ガス警報器をお買い求めいただきありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。  
なお、万一、本書を紛失されたときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- この警報器はプロパンガス、ブタンガスなどの液化石油ガス（以下LPガス）を検知します。  
都市ガスをご使用のご家庭には、都市ガス用のガス警報器を設置してください。
- 不完全燃焼および酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
- ガス検知部にガスが到達しないときは、警報機能が働きません。



発売元

愛知時計電機株式会社

〒456-8691 名古屋市熱田区千年一丁目2番70号

TEL 052-661-5151(代)

製造元

新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中二丁目5番4号

TEL 06-6308-3155(代)

もくじ	
1. 安全上のご注意	3
2. 各部のなまえとはたらき	4
3. ガス警報機能	5
4. その他の機能	7
5. ご使用方法	8
6. 点検方法	9
7. お手入れのしかた	9
8. 故障かな?と思ったら	10
9. アフターサービス	10
10. 仕様	10
施工説明【施工される方へ】	11

ガス警報器 (LPガス用)

----- 保証書 -----

品名

ガスハンター® AG52

型式名

CF-621

このたびはガス漏れ警報器をおもていただき誠にありがとうございます。  
この製品は高圧ガス保安協会検定に合格した警報器です。従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

- ・保証期間 警報器本体に表示された有効期限の期限内。
- ・保証の範囲 保証は機器本体を対象とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。
- ・保証適用 取扱説明書に基づく正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。
- ・保証適用除外 以下の保証の適用除外項目に記載してある事項の場合。
- ・保守点検 警報器の異常等のお申し出がありました際に次の保守点検をいたします。  
(1)点検具を使用しての作動テスト。  
(2)誤報発生の有無の確認(聴取による)。  
(3)設置場所の適否についてのチェック。

(実施者)  
販売者は必ず  
記入してください

(保証者)  
発売元

愛知時計電機株式会社

〒456-8691 名古屋市熱田区千年一丁目2番70号 TEL 052-661-5151(代)

製造元

新コスモス電機株式会社

※保証の適用除外  
この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。  
(1)使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。  
(2)火災、天災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気等の不可抗力による故障または損傷。  
(3)取付位置が壁外、高温多湿等著しく不適切な場所および浴室に取り付けた場合。  
(4)液化石油ガス以外のガス、水や煮こぼれ等の液体、動植物による故障または損傷。  
(5)その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。  
(6)本書の提示がない場合。ただし本書は日本国内のみ有効です。  
(7)本書に販売者の記入のない場合。  
(8)その他製造業者の責任によらない汚損、故障または損傷。  
(9)高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合。

※お願い  
(1)警報器の作動確認は、付属の点検ガス採取器で点検してください。  
(2)本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。  
(3)有効期限を過ぎた製品は保証いたしません。  
警報器は安全を守るための製品ですので必ず新しい製品とお取り替えください。

この保証書はお客様の民法または商法上の権利を制限するものではありません。  
また警報器についてご不明の場合はおもとの販売店にお問い合わせください。

お客様	お名前		TEL	
	ご住所	(〒 )		

## 1.安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- △危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合」が想定される」内容を示します。
- △警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
- △注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

絵表示の内容

！

「必ず行う」

🚫

「火気厳禁」

🚫

「ぬれ手禁止」

🚫

「水ぬれ禁止」

🚫

「分解厳禁」

🚫

「一般的な禁止」

△警告

🚫

分解や改造はしないでください。  
故障の原因となります。

🚫

衝撃を与えないでください。  
故障の原因となります。

## 2.各部のなまえとはたらき

- ①電源/警報ランプ

電源を入れると約5秒間点滅した後、点灯に変わります。通常（監視状態）は、ランプが赤く点灯しています。  
検知部がガスを検知するとランプが赤く点滅します。
- ②検定合格証

高圧ガス保安協会の検定に合格した製品であることを証明しています。
- ③点検/警報停止スイッチ

監視時に点検/警報停止スイッチを押すと、警報音と警報時の電源/警報ランプ（点滅）の動作確認ができます。  
警報中に点検/警報停止スイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。
- ④QRコード
- ⑤警報ブザー

検知部がガスを検知すると警報音が鳴ります。
- ⑥電源プラグ(CF-621-SS)

予備コンセントなしのプラグです。コード長さは15cmです。
- ⑦交換期限の年を表示

警報器の交換期限の年が表示されています。
- ⑧ガス検知部および点検口

ガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。
- ⑨電源プラグ(CF-621-L)

消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは3mです。

予備コンセントを使用する場合は	
警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグに付属している予備コンセントを使用することができます。	<div>🚫</div> <div>警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。 (例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)</div>
△警告	
<div>🚫</div> <div>予備コンセントに複数の電気製品を接続しないでください。 火災のおそれがあります。接続できるのは1490W以下の電気製品、1台だけです。</div>	<div>！</div> <div>必ず行う</div> <div>他の電気製品を予備コンセントに接続する場合は、電気製品の電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。 感電のおそれがあります。</div>

## 3.警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因を確認する。

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- スプレー式の殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器の近くで使っていませんか。

●芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。

●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。

●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。

●みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。

●可燃性のガスなどを使用していませんか。

●警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。

### 処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

販売店に連絡してください。

おねがい  
たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

## 4.その他の機能

### 交換期限のお知らせについて

警報器の交換期限が過ぎると電源/警報ランプがゆっくり点滅<sup>\*1</sup>します。  
警報器が正常に作動しないおそれがありますので、お求めの販売店に連絡し、警報器を交換してください。  
※1： ゆっくり点滅  
詳しい内容については、P5の「電源/警報ランプ状態・表示内容について」を参照してください。

交換期限を過ぎた警報器は、規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤動作のおそれがありますので、販売店に連絡してください。交換期限は、警報器本体に表示してあります。

### 警報音と警報時の電源/警報ランプの動作確認について

点検/警報停止スイッチを押している間、警報音と警報時の電源/警報ランプの動作を確認することができます。

点検/警報停止スイッチを押している間

点灯

点検/警報停止スイッチを押している間

点滅

「ピーピーピーピーピー」

## 3. ガス警報機能

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると警報を発します。

点灯

ガスが規定濃度以上になると

点滅

「ピーピーピーピーピー」

### 警報音が鳴ったときの処置のしかた

#### △危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発のおそれがあります。

- 🚫

火気厳禁
- 🚫

マッチやライターなど、火気を使わないでください。
- 🚫

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

🚫

禁止

電源プラグを抜かないでください。

- 1

ドアや窓を開けて換気する。

もれたガスは空気より重く、室内の下部にたまっています。空気が流れるようにドアと窓を開けてください。
- 2

ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。
- 3

ガスがなくなれば、警報音が停止する。

電源/警報ランプが点滅から点灯に変わります。
- 4

ガスもれの原因を確認する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

### ガスもれが無いのに警報音が鳴り、電源/警報ランプが点滅したときは

- 1

ドアと窓を開けて空気の通りを良くし、しばらく換気を行う。
- 2

換気が十分行われると、電源/警報ランプの点滅や警報音が止まる。

※警報の原因が分かっている場合は、電源プラグを抜かずに点検/警報停止スイッチを押してください。警報音を1分間停止することができます。

#### △注意

警報音を停止してもガスもれ警報が続いている場合は、再度警報音が鳴ります。  
※この場合は再度点検/警報停止スイッチを押しても警報音は止まりません。

おねがい  
警報音を停止するために警報器の電源プラグを抜かないでください。

## 2.各部のなまえとはたらき

- ①電源/警報ランプ

電源を入れると約5秒間点滅した後、点灯に変わります。通常（監視状態）は、ランプが赤く点灯しています。  
検知部がガスを検知するとランプが赤く点滅します。
- ②検定合格証

高圧ガス保安協会の検定に合格した製品であることを証明しています。
- ③点検/警報停止スイッチ

監視時に点検/警報停止スイッチを押すと、警報音と警報時の電源/警報ランプ（点滅）の動作確認ができます。  
警報中に点検/警報停止スイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。
- ④QRコード
- ⑤警報ブザー

検知部がガスを検知すると警報音が鳴ります。
- ⑥電源プラグ(CF-621-SS)

予備コンセントなしのプラグです。コード長さは15cmです。
- ⑦交換期限の年を表示

警報器の交換期限の年が表示されています。
- ⑧ガス検知部および点検口

ガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。
- ⑨電源プラグ(CF-621-L)

消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは3mです。

予備コンセントを使用する場合は	
警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグに付属している予備コンセントを使用することができます。	<div>🚫</div> <div>警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。 (例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)</div>
△警告	
<div>🚫</div> <div>予備コンセントに複数の電気製品を接続しないでください。 火災のおそれがあります。接続できるのは1490W以下の電気製品、1台だけです。</div>	<div>！</div> <div>必ず行う</div> <div>他の電気製品を予備コンセントに接続する場合は、電気製品の電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。 感電のおそれがあります。</div>

## 5.ご使用方法

### 使用するとき

- △警告

🚫

電源電圧AC100V以外で使用しないでください。  
過電圧を加えると過熱し、火災の原因になるおそれがあります。
- △注意

！

必ず行う

警報器の電源プラグや、予備コンセントに接続するほかの電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。

🚫

水ぬれ禁止

警報器や電源プラグ（予備コンセントを含む）を水につけたり、水をかけたりしないでください。  
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

🚫

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。  
感電するおそれがあります。

🚫

禁止

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。  
ガスもれが発生しても警報を発しません。

🚫

禁止

警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。  
聴力障害などの原因になるおそれがあります。

🚫

禁止

取付位置を移動させないでください。  
警報の遅れの原因となります。  
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店に連絡してください。

🚫

禁止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。  
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。  
警報器から距離を離してお使いください。

🚫

禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。  
警報の遅れの原因となります。
- 1

電源プラグをコンセントに差し込む。

電源/警報ランプが約5秒間点滅します。（停電復帰時も同じです）。

2

電源/警報ランプが点灯し、監視状態に入る。

※初期通電時及び停電復帰後の5分間は、不要な警報を防止する機能が働くため、少し警報しづらくなります。
- 8



## 6. 点検方法

日常点検
日常点検は、電源/警報ランプが赤く点灯していることを確認してください。 電源/警報ランプが点灯していないと、ガス洩れが発生しても警報を発しません。 ご不明な場合は、販売店に連絡してください。
作動点検
警報器が正常に作動していることを確認するために、付属の点検ガス採取器による点検を行ってください。 点検される際は、施工説明のP15.「4-2 ガス警報機能の点検」を確認してください。
<b>おねがい</b>
●点検ガス採取器は、お客様の手の届かない場所で保管してください。 ●ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、「9.アフターサービス」をお読みください。

## 7. お手入れのしかた

### △ 注意

**必ず行う** ●警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。  
感電やけがの原因となります。

**必ず行う** ●電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを取り除いてください。  
火災の原因となります。

### おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤などを使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

### お手入れ

警報器の表面が汚れた場合、感電などの防止のために電源プラグをコンセントから抜き、水または石けん水で湿した布をよく絞ってふき取ってください。  
ふき終わったら、警報器がぬれていないことを確認し、電源プラグをもとどおりコンセントに差し込んでください。

9

## 3 取り付けかた

### 3-1 警報器を取り付ける前に

#### おねがい

- 取付位置は、P.12「2-3 取付位置の確認」の正しい取付位置を守った上で、電源コードの距離、取付金具に警報器を引っ掛けるための隙間などを確認して決定してください。
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。  
警報が遅れる原因になります。

### 3-2 取付金具の取り付け

#### △ 注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。

〈木質壁・コンクリート壁の場合〉  
木ねじ(13mm)を図のようにねじ込み、取付金具を固定する。  
※コンクリート壁の場合は、市販のカールプラグを打ち込んで 木ねじを使用してください。

〈タイル壁など木ねじが使用できない壁の場合〉  
付属の両面テープを使用し、取付金具を固定する。  
※取付面のほこり・油分などをきれいにふき取ってください。  
※取付金具を貼り付けた後、すぐに警報器を取り付けしないで、取付金具が十分に接着されるまでしばらくお待ちください。



### 3-3 警報器の取り付け

#### △ 注意

- 警報器を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。  
感電・故障・誤動作の原因となります。
- 電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。
- 電源コードの上に、重いものを置かないでください。

13

## 8. 故障かな?と思ったら

警報器に異常がある場合は、次の点検および処置をしてください。  
処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
電源/警報ランプが消灯している。	●電源プラグが抜けていませんか。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●電源ブレーカーが切れていませんか。	●ブレーカーを入れてください。
	●停電していませんか。	●停電でなければ、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
電源/警報ランプが高速点滅し「ピッピッピ」と鳴っている。	●警報器の故障を知らせています。	●販売店にご連絡ください。 点検/警報停止スイッチを押すと警報音を約36時間止めることができます。
電源/警報ランプがゆっくり点滅している。	●警報器の交換期限を過ぎたことを知らせています。	●販売店に連絡して新しい警報器に交換してください。
たびたび警報音が鳴る。	●ガス機器の異常が考えられます。	●ガス機器の点検を受けてください。
	●ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	●それらの機器も点検を受けてください。
ガスがもれていないのに電源/警報ランプが点滅し警報音が鳴る。	●原因を調べてください。 (P.6「ガス洩れが無いのに警報音が鳴り、電源/警報ランプが点滅したときは」を参照)	●処置をしても警報音が鳴りやまない場合は、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

## 9. アフターサービス

- 添付の保証書に基づき、保証期間は警報器本体に表示された交換期限の期限内となります。万一異常が生じた場合は、速やかにお買い求めの販売店に連絡し保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「8. 故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店に連絡してください。
- 引っ越しをされるときは、販売店に連絡してください。

※：爆発下限  
爆発は、空気に対するガスの割合がある範囲になったときに起こる可能性があります。  
その範囲を爆発限界といっています。最高温度を爆発上限、最低温度を爆発下限といっています。

10

### 1 コード振れ止めを壁面に固定する。

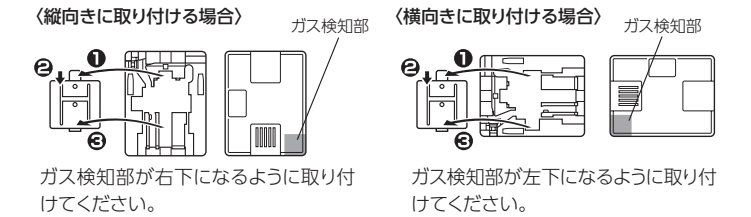


### 2 電源コードを、コード振れ止めにはめ込む。



### 3 警報器本体を図のように取付金具に取り付ける。

警報器は横・縦の両方取り付け可能です。  
※ガス検知部を下にして取り付けてください。  
※取り付けた警報器にガタつきがないことを確認し、確実に固定されていることを確認してください。



ガス検知部が右下になるように取り付けてください。  
ガス検知部が左下になるように取り付けてください。

#### おねがい

余った電源コードはガス検知の妨げにならないよう、警報器のガス検知部から離して置いてください。

### 4 取り付け後の点検

#### 4-1 初期動作の点検

電源プラグをコンセントに差し込む。  
電源/警報ランプが点滅<sup>\*2</sup>し、約5秒後に点灯になり、警報器は監視状態に入ります。  
※2: 電源/警報ランプが点滅  
詳しい内容については、P5の「電源/警報ランプ状態・表示内容について」を参照してください。

14

## 施工説明 【施工される方へ】

## 1 施工される方へのお願いとご注意

#### お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、この施工説明に従って指定された取り付けを行ってください。
- 取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。万一、動作不良があったときは交換してください。
- 取り付け終了後に、P.16「7-1 警報器の説明」「7-2 お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してください。
- 取り付け前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。

**△ 警告** 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**△ 注意** 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

**△ 警告**  
● **分解や改造はしないでください。**  
故障の原因となります。  
● **衝撃を与えないでください。**  
故障の原因となります。

**△ 注意**  
● **警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。**  
聴力障害などの原因になります。  
● **正しい取付位置に取り付けてください。**  
取り付けたいいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤動作、故障の原因になります。

### 2 施工前の確認

#### 2-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個 取付金具…1個	両面テープ…1個 コード振れ止め…2個	木ねじ 長さ13mm…3本 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカー…1枚 取扱説明書・施工説明(保証書付) [本書] …1部
点検ガス採取器 …1個		

11

### 4-2 ガス警報機能の点検

準備いただくもの：点検ガス採取器(付属品)、ガスコンロ、ガスライター(市販品)など炎からガスが採取できるもの

#### △ 注意

- 付属の点検ガス採取器以外は、絶対に使用しないでください。
- 採取したガスを吸引しないようご注意ください。  
吸引すると、中毒症状を起こす場合があります。
- 採取したガスは、ガス警報機能の点検以外には使用しないでください。
- ガスを採取した直後の採取管は、絶対に触らないでください。  
採取管を長時間加熱しないでください。  
やけどをしたり、ガス採取器が破損するおそれがあります。
- アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。  
センサ異常またはセンサ故障の原因になります。

- 1 ガスコンロまたはガスライター(市販品)などを点火し、炎の高さを約5cmに調節する。
- 2 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の内炎部(青い炎部分)に持つていく。
- 3 容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。
- 4 点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロまたはガスライター(市販品)等の炎を消す。

- 5 採取管の先端部分の温度が下がるまで(約25秒程度)待った後、点検口にゆっくり(約3秒程度)ガスを注入する。
- 6 電源/警報ランプが点滅して警報音が鳴れば、正常です。

※本警報器は、電源投入から5分以内において不要な警報を防止するための機能を備えており、点検ガスで警報しにくい場合があります。

※ガスを注入しても警報を発しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。  
それでも警報を発しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。

15

### 2-2 保証書・警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーへの記入

保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先を記入してください。  
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーの所定の欄に、販売店さまの名称と連絡先を記入してください。  
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーは、お客さまの目につく場所に貼ってください。

### 2-3 取付位置の確認

取付位置については、お客さまとよく相談をして決めてください。  
既存の警報器の取付金具に、新しい警報器を取り付ける場合についても、下記の正しい取付位置に取り付けられているかを確認してください。

#### 〈正しい取付位置について〉

- 床面から30cm以内の高さで、ガス器具や元栓(ガス栓)の最も遠いところより水平距離で4m以内の場所へ取り付けてください。
- ガス洩れを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に取り付けてください。
- もれたガスが滞留しやすい位置に取り付けてください。
- ガス警報があった場合、ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。

4m以内  
30cm以内

#### 〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- 振動、衝撃の激しいところ。  
誤動作や故障の原因になります。
- 温度が-10℃以下または40℃以上になるところ。  
誤動作や故障の原因になります。
- 警報器の上に器物や煮こぼれ、水、油などが落ちるところ。  
誤動作や故障の原因になります。
- カーテンウォール等で仕切られているところ。  
警報が遅れる原因となります。
- 使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの湯沸室で夜間電源を切るところ)。  
警報器としての機能を果たしません。
- 給排気口、通路ドア付近などの風通しのよいところ、すきま風が入るところ。  
警報が遅れる原因となります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙などが直接かかるところ。  
センサ寿命が短くなったり、誤動作するおそれがあります。
- 台所設備などでさえぎられるところ。  
警報が遅れる原因となります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所には取り付けしないでください。  
感電や電氣的故障の原因になります。
- 屋外。  
屋内専用です。

12

## 5 交換期限お知らせ機能を解除する場合

#### △ 注意

一度交換期限お知らせ機能を解除すると、再度交換期限お知らせ機能を有効にすることはできませんので注意してください。

出荷時、交換期限お知らせ機能が動いています(警報器の交換期限を過ぎたことを、電源/警報ランプの点滅でお知らせする機能です)。  
交換期限お知らせ機能を解除する場合は、点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
電源/警報ランプが点滅<sup>\*3</sup>し、約5秒後に点灯になり、警報器は監視状態に入ります。

※3: 電源/警報ランプが点滅  
詳しい内容については、P5の「電源/警報ランプ状態・表示内容について」を参照してください。

点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグを差し込む  
点検/警報停止スイッチ  
約5秒後  
点灯

## 7 お客さまへの説明について

### 7-1 警報器の説明

- ① 警報動作および点検結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③ 取扱説明書(保証書付)の保管をお願い。
- ④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
  1. ガス警報の内容(電源/警報ランプ点滅、警報音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
  2. 警報音と警報時の電源/警報ランプの動作確認の説明。
  3. 誤報が発生する原因と処置の説明。
  4. 交換期限お知らせ機能の説明。

16

### 7-2 お客さまへの周知事項

- ① 警報器の交換期限(本体に表示)。
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお知らせ。
- ④ 警報器の移設禁止(移設依頼時の連絡先)。
- ⑤ 警報器の分解禁止。
- ⑥ 引越時の処置。
- ⑦ 故障・異常時の連絡先。